

学校だより 西丸子



夏休み号

令和8年7月17日（金）川崎市立西丸子小学校

探究的な学びを応援してください！

校長 吉村 あかね

令和8年度のスタートから4か月が終了しました。4か月間、地域の方々、学校運営協議会の皆さま、保護者の皆さま、PTA 活動を通して学校を支えてくださっている皆さま、大変お世話になりました。お陰様で、本校は大きな事故もなく、日々の学校活動を推進することができました。

ちょうどコロナ禍と同時にスタートした現行の学習指導要領で主体的・対話的で深い学びを進めることが掲げられ、我々現場の教員はその趣旨や内容の説明が十分にできないまま、新しい学力観に基づき、学校教育を進めてきました。子ども達が学びに自分事として向き合い、課題を見つけ、それを解決するために試行錯誤していく。そんな姿がたくさん表れるよう授業を工夫する必要がありました。特に昨年度は創立70周年事業に関わるなかで、教職員と子ども達は『地域の皆さまに感謝の気持ちをどうしたら表せるか』という課題を解決するために、実に生き生きと活動に取り組んでいました。地域の皆様が、もっと地域とかわかってほしい、という熱い視線を投げかけてくださる温かい環境の中で、子ども達は失敗を恐れず、自分たちの思う方法で発信することができたのではないのでしょうか。まだまだ未熟で足りない部分も多かったと思いますが、大人にやらされるのではなく、自分たちで試行錯誤しながら進めることに、大きな教育的意義を感じました。お付き合いいただいた皆様には深く感謝申し上げます。

今年度の教職員の校内研究では、より探究的に学習に向かう子ども達を育成する授業づくりについて教職員一同で学びを深めることとしました。見切り発車の私とは違い、着実に学びを変革させたいという教職員の思いを尊重し、思い切って通常行う授業研究をとりやめ、前半は、教職員皆で探究的学びについての研修を通して技術を高め合うこととしました。いよいよ後半は、カリキュラム作りに着手していきます。子ども達と一緒に、わくわくする気持ちを忘れずに、学び続ける集団でありたいと思います。今年度は各学年で授業公開はしない代わりに、全校行事である運動会をメインに、探究的学びを共有します。全校行事で取り組むよさは、全員で同じ目標、同じ活動を行うことで、研究の目的を共有しやすいこと、また、学年バラバラで企画するものより、校務分掌の担当者で知恵を出し合いながら企画・運営できるため、教員の負担軽減につながる余地があることです。さらに、探究的な活動として取り組んだ子ども達の姿を、保護者や地域の皆様に観ていただくことで、学習指導要領に基づく学校活動の方向性についてお示しできる貴重な機会ともなる、ということです。子ども達がどんな運動会を作りたいと思うか、それを実現させるためにどこまで協力して動けるか、われわれ教員も、子どもを信じてどれだけ待てるか、子どもの思いを予測できるか、まずはやってみなくてはわかりません。

とはいえ、ひとまず小休止。明日から夏休みです。皆さまにとって有意義な夏休みとなりますよう、お祈りしています。